

平成28年度事業計画（案）

平成28年度事業計画（案）

（平成28年4月1日から平成29年3月31日）

基本方針

日本の金型業界は経済産業省が実施している機械統計によると、直近発表の平成27年が約3,820億円、前年の平成26年の3,540億円と比較して約8.0%増加であった。さらに平成20年後半発生したリーマンショックの影響で一番落ち込んだ平成22年の3,140億円と比べると約20%増加と回復基調が感じられてきている。

その要因としては、平成23年後半から自動車部品・電子部品向けの金型需要が順調できたことと、その流れの中での円安効果による輸出産業の金型需要増加によるものであると考えられる。

さらに、金型発注者側の事情による以下の新しい2つの発注方法変更の動きも、金型需要全体に占める割合は不明であるが、今後の日本の製造業並びに日本の金型を考える上で無視出来ない流れを作りつつある。

その一つの新しい流れは、コスト優先の部品用金型はアジア諸国、精度・品質を優先する部品の金型は日本国内といった品質別の国際分割発注による金型発注の国内回帰の動き。

もう一つの新しい流れは、アジア諸国に金型発注して最終的な仕上げは日本の金型メーカーに仕上げさせる工程別の国際分割発注に関しても、表向きの金型費は削減出来ても仕上げ費用などを含めたトータル的には高い金型になってしまうことから、はじめから全ての工程を日本の金型メーカーに発注する方式に戻す動き。

そのような新しい動きは、戦後何十年も掛けて築いてきた信頼の品質「JAPANブランド」の再認識である。それは一時のコスト至上主義によりJAPANブランドを「過剰品質」と揶揄し、その結果として品質を落とし国際競争力の低下を招いた反省と、同じ品質レベルの金型であれば日本の金型は決して高くないといった真実に気付いたことが根底にあると言われている。

当工業会としても品質優先の「JAPANブランド」支えるのは「日本の金型」であるといった自負から、国内外の金型ユーザーに対して「日本の金型」のPRを積極的に行っていくこととする。

さらに平成26年に当工業会が策定、発表した「新金型産業ビジョン」に基づき以下の事業を実施していく。

「新金型産業ビジョン」は金型業界の大半をしめる小規模企業でも対応できる内容として、国内雇用を守り国内で金型づくりを継続していくことを基本的考え方として以下の6つのキーワードを提示している。

先ず基本となるキーワードは三つあり

- (1) 第一のキーワード：営業力（提案力）
- (2) 第二のキーワード：海外展開
- (3) 第三のキーワード：金型技術を活かした周辺分野への事業展開である。

加えて、この三つの基本キーワードをサポートするための三つのキーワードが存在する。サポートキーワードとしては

1. 技術委員会事業

技術委員会（15名）

委員長（東）	坂西伸一	黒田精工(株)
副委員長（中）	渡邊幸男	(株)名古屋精密金型
委員（東）	岩壁清行	(株)日本デザインエンジニアリング
委員（東）	鈴木光一	マルスン(株)
委員（東）	高山敏雄	双葉電子工業(株)
委員（東）	成塚真之	(株)オギハラ
委員（東）	平林巧造	(株)サイベックコーポレーション
委員（東）	牧野俊清	(株)長津製作所
委員（中）	鈴木政幸	(株)三琇ファインツール
委員（中）	田中幸好	(株)田中金型製作所
委員（中）	三宅和彦	(株)セントラルファインツール
委員（中）	安田耕三	(株)安田製作所
委員（西）	山中雅仁	(株)ヤマナカゴーキン
賛助会員委員	市川泉	(株)ミスミ
賛助会員委員	加田善裕	小山鋼材(株)

金型並びに金型関連産業の技術・規格に関する事業及び技術委員会関係の行政施策への要望や協力事業を実施する。

- (1) 技術革新交流会（工場・研究所見学会・技術セミナー・デモ見学会）を開催する。
- (2) 金型関連技術に関する各種技術情報を収集並びに金型用語の整備を行う。
- (3) 金型材料・金型部品分科会（仮称）を設置して金型関連規格（JIS・ISO等）の動向に対応する。
- (4) 中央技能検定運営（金型関連技能検定委員推薦など）に協力する。
- (5) 金型人材育成技術セミナーを開催する。
- (6) 卓越した技能者の表彰者（現代の名工）推薦に関する活動を行う。
- (7) 中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律における技術分野の「金型に係わる技術」見直しなどに協力する。
- (8) 金型製造業に関連する法規制などに対応する。
- (9) 技術委員会事業の作業チームとしての「金型技術研究会」を設置して金型技術者の交流を推進する。
- (10) 技術委員会を開催する。
- (11) その他、技術委員会に関係する事業を必要に応じて適時実施する。

2. 経営労務委員会事業

経営労務委員会（11名）

委員長（中）	迫田幸博	(株)エムエス製作所
委員（東）	賀井治久	(株)ツバメックス
委員（東）	河西正彦	イースタン技研(株)

委員	(東)	小林	憲一郎	小林工業(株)
委員	(東)	田中	幹也	(株)田中精機製作所
委員	(東)	森谷	長治	(株)森谷鉄工所
委員	(中)	小塚	義典	コヅカテクノ(株)
委員	(中)	三田	聡	(株)セイキ工業
委員	(中)	山田	徹志	(株)日章
委員	(中)	石川	幹人	(株)リバン・イシカワ
委員	(西)	海田	拓洋	(株)エスバンス

金型並びに金型関連産業の企業経営に関する事業及び経営労務委員会関係の行政施策への要望や協力事業を実施する。

- (1) 賃金・労働時間調査を行い、集計結果を報告書として会員に配布する。
- (2) 金型業界動向調査を行い、集計結果を報告書として会員に配布する。
- (3) 簡易金型景況調査を3ヶ月毎に年4回行い、集計結果を報告書として会員に配布する。
- (4) 金型図面データ・金型加工データの知的財産保護に関する活動を行う
- (5) 金型取引環境整備に関する活動を行う
- (6) 会員企業の法律・労務管理・社会保険に関してサポートを行う
(弁護士・社会保険労務士による会員向け無料相談システム)
- (7) セーフティネット保証5号に基づく特定業種の指定に関する調査票を作成する
- (8) 経営労務に関するセミナーを開催する。
- (9) 金型に関連する統計資料を収集・編集して情報提供する。
(機械統計(月毎)・工業統計(年毎)・輸出入統計(月毎)・その他関連統計)
- (10) 経営労務委員会を開催する
- (11) その他、経営・労務に関する事業を必要に応じ適時実施する

3. 広報委員会事業

広報委員会(12名)

委員長	(西)	堀口	展男	野田金型(有)
副委員長	(中)	大矢知	清隆	(株)明和製作所
委員	(東)	池上	正信	池上金型工業(株)
委員	(東)	岩壁	清行	(株)日本デザインエンジニアリング
委員	(東)	小泉	秀樹	(株)ペッカー精工
委員	(東)	鈴木	教義	(株)鈴木
委員	(東)	高橋	清一	清和金型工業(有)
委員	(東)	千葉	英樹	(株)チバダイス
委員	(中)	小川	泰徳	(株)アサヒダイテック
委員	(中)	梶川	豊司	(株)フジタ
委員	(中)	嶋田	宏樹	日嶋精型(株)
委員	(中)	鈴木	政利	(株)正和鉄工所

金型並びに金型関連産業に関する社会への啓発、広報活動事業及び広報委員会関係の行政施策への要望や協力事業を実施する。

- (1) 金型の世界 (DVD) の改修版について作成に関する検討を行う。
- (2) 一般社団法人日本金型工業会 (日本の金型PR用) パンフレットの作成する
- (3) 海外の展示会で工業会PR (主にHP内、Request for quotation) 活動を行う
- (4) ホームページのスマートホン対応ページの作成を行う
- (5) 機関紙「金型」を年4回発行する
- (6) ホームページを運営して会員・会員外に金型関連の情報を提供する
- (7) インターネット「メールマガジン」機能を利用して会員・会員外に金型関連の情報を提供する。
- (8) インターモールド2016&金型展2016 (大阪) を開催する
- (9) インターモールド2016&金型展2016 (大阪) 工業会会員出展ブース設営を行う
- (10) インターモールド2017&金型展2017 (東京) 開催準備を行う
- (11) インターモールド2017&金型展2017 (東京) 工業会会員出展ブース設営を行う
- (12) 第8回学生金型グランプリ (大阪) を開催する
- (13) 第9回学生金型グランプリ (東京) 開催準備を行う
- (14) その他、広報委員会に関する事業を必要に応じて適時実施する

4. 国際委員会事業

国際委員会 (18名)

委員長	(東)	木田成人	昭和精工(株)
委員	(東)	池上正信	池上金型工業(株)
委員	(東)	岩壁清行	(株)日本デザインエンジニアリング
委員	(東)	加藤忠郎	日進精機(株)
委員	(東)	黒柳告芳	(株)明輝
委員	(東)	篠崎康夫	双葉電子工業(株)
委員	(東)	牧野俊清	(株)長津製作所
委員	(中)	今川喜章	(株)丸順
委員長	(中)	上田勝弘	大垣精工(株)
委員	(中)	高橋茂壽	(株)高橋精機工業所
委員	(中)	早瀬 實	(株)ナガラ
委員	(中)	三田 聡	(株)セイキ工業
委員	(中)	渡邊祐子	(株)名古屋精密金型
委員	(西)	堀口展男	野田金型(有)
委員	(西)	山中雅仁	(株)ヤマナカゴーキン
外部委員		横田悦二郎	一般社団法人日本金型工業会学術顧問
外部委員会社		インターモールド振興会	代表 大池 博
外部委員会社		(株)事業革新パートナーズ	代表 茄子川 仁

金型並びに金型関連産業に関する国際交流及び協力事業及び国際委員会関連の行政施策への要望や協力事業を実施する。

- (1) 国際金型協会 (ISTMA)、アジア金型工業会協議会 (FADMA) などの国際会議に参加する。
- (2) 日本の金型業界を代表して世界各国、地域と金型に関する国際親善に対応する。
- (3) 海外企業からの受注対応システムの運営を行う。
 - ① 「Request for quotation」システムの運営
 - ② 日本金型工業会HP (英語版) 充実化に向けたアドバイス
- (4) 海外地区会の事業を推進し、各地域での会員交流と国際交流を深める。
(上海、広州、タイ、ベトナム、インドネシア、フィリピン)
- (5) 海外向け会員企業広報キャッチフレーズ作成とPR活動を行う。
 - ① 海外からの工場見学の受け入れ
 - ② 広報委員会と協力してのPR活動

※日本の金型のPRのための展示会の情報提供などの協力
- (6) 外部機関と委託連携して会員企業の海外展開のサポート事業を実施する。
- (7) 金型関連に関する海外情報の提供を行う (セミナー開催等)。
- (8) 国際委員会を開催する。

5. 総務財務委員会事業

他委員会事業以外で工業会の目的を達成するために必要な事業及び総務・財務委員会関連の行政施策への要望や協力事業を実施する。

総務財務委員会 (13名)

委員長 (中)	小出 悟	(株)小出製作所
委員 (東)	石川 雅也	池上金型工業(株)
委員 (東)	佐藤 達郎	(株)エス・アイ・ティ
委員 (東)	長原 眞二	(株)三井ハイテック
委員 (東)	並木 正夫	(株)並木金型
委員 (東)	星野 俊一	(株)北辰金型工業所
委員 (東)	牟田 伊夫	日本金型材(株)
委員 (中)	迫田 幸博	(株)エムエス製作所
委員 (中)	中野 貴文	(株)アクラスコーポレーション
委員 (中)	野田 泰義	KTX(株)
委員 (中)	早瀬 一明	チヨダ工業(株)
委員 (中)	山田 徹志	(株)日章
委員 (西)	光久 一広	(株)光金型製作所

他委員会事業以外で工業会の目的を達成するために必要な事業及び総務・財務委員会関連の行政施策への要望や協力事業を実施する。

- (1) 工業会の活性化、組織の強化、資産の健全な維持・運用を図る
- (2) 会員増強に関する事業を重点的に引き続き行う。

- ①全国金型企業（会員外）データに基づき1会員1社勧誘活動の実施（会員増強キャンペーンシートの活用）
 - ②アンケート回答企業（324社）への事業参加呼びかけ活動の実施
 - ③会員増強表彰制度の継続（5社入会を表彰）
 - ④金型シンポジウムを開催する（東北・岩手）
 - ⑤九州支部会の部会を開催する
- (3) 行賞規程及び「金型の日記念式典」表彰要領に従い「金型の日記念式典」における表彰を行う
- (4) 慶弔規程内規に従い会員及び職員の慶弔見舞を行う
- (5) 会員調査（正会員）アンケートを行う。
- (6) 第43回金型の日記念式典（東京）を開催する。
- (7) 設立60周年事業（平成29年11月開催）について検討を行う
- (8) 金型認定制度（金型マスター）についての検討を行う
- (9) 全国金型交流会（金型ゴルフコンペ）を開催する（中部地域にて）
- (10) 機械補償制度・火災補償制度及び労災補償制度を継続する。
- (11) 会務及び諸規定等の策定・見直しを行う。
- (12) その他、総務、財務に関する事項について検討を行う
- (13) 総務・財務委員会を開催する
- (14) 会長および理事会による特命事項について検討を行う

■東部支部事業計画（案）

1. 委員会活動

(1) 技術委員会

- ①金型技術の向上を図るため第44回金型関連技術発表講演会を開催する。
- ②金型製造現場における技術的な問題や課題の解決を目指す金型生産システム研究会幹事会ならびにワーキンググループを運営する。
- ③金型業界ならびに関連業界の技術情報を収集する。

(2) 経営労務委員会

- ①「海外市場開拓分科会」
- ②「機械事故・トラブル防止検討分科会」
- ③「ジャパンプランド新商品開発分科会」

以上3つの分科会を設置し、テーマ別の活動を推進する。

(3) 広報委員会

- ①新年懇親会・総会やその他研修会の講師選定など企画を立案する。
- ②会員増強に向け、各種の広報活動を行う。
- ③金型業界の知名度向上とともに金型の重要性を広報する活動を行う。
- ④東部支部熟年経営者の会である「金型湯島会」を運営する。
- ⑤東部支部ゴルフ会を年6回開催する。

(4) 活性化委員会（会員増強委員会）

- ①会員増強事業の企画・検討・実施
- ②金型業界ならびに関連業界の動向について情報収集を行う。
- ③金型業界で注目を集めているテーマについて、適宜、研修会やセミナーを開催する。
- ④会員企業のニーズを集め新規事業を企画し、各委員会へ提案を行う。

2. 型種別部会・地区会活動

(1) プラスチック型部会

- ①部会全体の運営を検討する幹事会を開催する。
- ②研修会や見学会を開催する。
- ③5つの地区会が集まって合同地区会を開催する。
また5つの地区会は、それぞれ下記の活動を推進する。
 - ・城東地区会：定例地区会を開催する。
 - ・城西地区会：定例地区会を開催する。
 - ・城北地区会・新潟地区会（合同地区会）：定例地区会を開催する。
 - ・城南地区会：定例地区会を開催する。

(2) プレス型部会

- ①定例部会を開催する。
- ②プレス関連の各種展示会の視察を行う。
- ③ユニーク（特徴のある）経営企業の話聞く会を開催する。
- ④友好団体である日本塑性加工学会主催のセミナー・見学会に参加する。

(3) 鋳鍛DC型部会

- ①定例部会を開催する。
- ②工場見学会を開催する。

(4) ゴム型部会

- ①定例部会ならびに若手会を開催する。
- ②工場見学会を開催する。

(5) 新潟地区会

工場見学や懇親会を開催する

3. その他

- ①経済産業省、関東経済産業局、東京都をはじめとする各行政機関が実施する事業に協力する。
- ②日本金型工業健康保険組合、日本金型工業厚生年金基金の活動に協力する。
- ③若手経営者並びに後継者で組織している天青会の運営に協力する。
- ④その他、東部支部の事業目的を達成するための諸事業を行う。

■中部支部事業計画（案）

【部会活動】部会活動は以下の事業を計画する。

7つの部会（ゴム・プラスチック型部会、プレス型部会、ダイカスト型部会、鋳造型部会、鍛造型部会、浜松部会、北陸部会）により、工場見学会、勉強会、現場力改善活動発表会等を開催し、情報交換、技能・技術向上に努め、知識吸収を図る。

また、海外の金型製造に関する視察を行う。また、客先関連団体等との懇談会を企画し、情報交換等交流に努める。

また、会員相互に切磋琢磨し、難局を乗り越えるための人づくりを目標に活動をする。

【委員会活動】

委員会活動は以下の事業を計画する。

1. 運営委員会

総会運営案並びに役員人事に関する件について検討する。

各委員会並びに部会へ協力態勢をする。

2. 役員会

本部理事会終了後の伝達並びに支部独自の運営について必要事項討議の為、随時開催を予定する。

3. 経営・労務委員会

(1) 本部の経営労務委員会に出席し、当支部の動向・意向を反映させるとともに、同委員会からの必要事項を伝達する。

(2) 事業推進の必要に応じて委員会を開催する。

(3) 会員のニーズに応じて、講習会・講演会等を企画し実施する。

(4) 本部・支部が推進する各種事業に協力する。

(5) 会員相互に切磋琢磨し、難局を乗り越えるための人づくりを目標に活動をする。

4. 技術委員会

(1) 正会員、賛助会員、大学等の技術研究機関等と協力して、最先端技術や数年後の技術等についての研究成果及び事例の発表の場として「金型関連技術発表交流会」を企画運営し、開催に努める。

(2) 公的試験研究機関並びに大学等との交流を深め、新技術の開発と金型技術の向上を図る。

(3) 金型関連企業及び団体各位に協力を求め、海外情報をはじめ、講習・講演会の共催を依頼する。

(4) 会員同士の積極的な交流に努め、工場見学会・勉強会を実施する。

(5) 本部委員会の方針に基づき、支部において事業計画をたて、新技術導入に力を注ぐ。

(6) 会員相互に切磋琢磨し、難局を乗り越えるための人づくりを目標に活動をする。

5. 福利厚生委員会

会員各社の和と健康保持を奨励し、ソフトボール大会・他のレクリエーション事業も検討して主催する。

また、会員相互に切磋琢磨し、難局を乗り越えるための人づくりを目標に活動をする。

開催予定

- ①アミューズメント施設 入場券 配布（抽選）
- ②第44回中京地区ソフトボール大会
- ③第44回ソフトボール決勝大会（中京地区開催）
- ④親善ボウリング大会

6. 広報委員会

- (1) 新春講演会並びに新春賀詞交歓会を企画運営する。
- (2) (一社)日本金型工業会会報及びホームページ内中部支部ページについて、掲載内容等の企画・検討をする。
- (3) 関係官庁・諸団体からの各種案内について、メール配信を推進する。
- (4) 本部広報委員会に協力すると共に支部に設置のない本部委員会の情報を速やかに伝達する。
- (5) 会員相互に切磋琢磨し、難局を乗り越えるための人づくりを目標に活動をする。

7. 会員増強・金型企業活性化戦略委員会

- (1) 基盤拡充のため新入会の推薦にも努め、会員外企業の入会促進について各部会と協力して推進し、円滑な事業活動の運営に努める。
- (2) 金型企業が活性化されるための要因を検討し実践に努める。
- (3) 本部委員会に協力するとともに情報を速やかに支部会員に伝達し、経営戦略の検討等、金型産業の活性化を図る。
- (4) 地区会を開催し、会員企業の活性化を推進する。また地区会どうしの積極的な交流を図り活動する。
- (5) 関連団体及び大学等研究機関と連携し活発な活動に努める。
- (6) 会員相互に切磋琢磨し、難局を乗り越えるための人づくりを目標に活動する。

8. その他

- (1) 関係各官庁、業界団体の講習会・講演会等の案内を速やかに連絡して知識吸収を奨励する。
- (2) イーグル会、中部金型クラブの運営に協力する。

■西部支部事業計画（案）

平成28年度西部支部のメインテーマは「仕事のとれる仕組みづくり」を目標に平成27年度に引き続き下記の3つの仕組みづくりのための活動をしていくこととする。

1. 自社独自の仕組みづくり、
2. 西部支部内でのグループとしての仕組みづくり
3. 一般社団法人日本金型工業会全体事業としての仕組みへの参加

具体的な活動としては下記の事業を実施する。

1. 講演会・工場見学会など仕事のとれる仕組みづくりの勉強会を開催する。
2. 第5回金型関連技術発表講演会を開催する。
3. 第4回西部支部総会（平成28年度事業計画説明会）を開催する。
4. 西部支部新年懇親会を開催する。
5. 会員増強事業としての西日本金型関連企業交流会を開催する。
6. 会員増強事業としての非会員企業向けの「会員無料体験事業」を実施する。
7. 若手の会としての「型青会」を運営する。
8. 会員の親睦を目的としたゴルフ会を運営する。
9. 型技術協会など金型関連の他団体と交流を深める。
10. 日本金型工業厚生年金基金、日本金型工業健康保険組合の加入促進に協力する。
11. 型種別・地域別活動について検討を行う。
12. 経済産業省、各行政機関の事業に協力する。
13. 西部支部役員会を開催する。
14. その他、西部支部の事業目的達成のために必要な活動を行う。